

第9回「アザラシ型ロボット・パロによるロボット・セラピー研究会」

The 9th International Symposium on Robot Therapy with Seal Robot, PARO

日時：2017年10月6日（金）10時から20時（9時30分開場）

会場：IKE Biz としま産業振興プラザ（〒171-0021 東京都豊島区西池袋 2-37-4）

共催：産業技術総合研究所人間情報研究部門、東京工業大学情報理工学院

アメリカ・マサチューセッツ工科大学高齢化研究所（AgeLab., MIT）

イギリス・オックスフォード大学高齢化研究所（Oxford Institute of Population Ageing）

東京都豊島区教育委員会

IEEE RAS Technical Committee on Rehabilitation and Assistive Robotics

参加費：無料（懇親会は有料：2,000円・事前申込みを受付）

定員：100名（先着順：ただし、希望者多数の場合には、医療福祉関係者でパロを既に活用している方や、今後、パロの活用を検討されている方を優先します）

参加申込・各種問合せ：産業技術総合研究所人間情報研究部門 植松育子

（電子メール）ikuko.uematsu@aist.go.jp （電話）029-862-6586

内容：セラピー用アザラシ型ロボット・パロについて、ロボット・セラピーの対象は、子供から高齢者まで様々である。第1回から第8回までに、認知症高齢者のケア・リハビリ、小児を対象とした各種セラピーについて、様々な観点から発表がなされた。今回は、国内外で、様々な年齢の方々の障害や疾患等に対して、パロのセラピー効果に関するランダム化比較試験による治験結果（豪州でN=415等）や、在宅介護でパロに介護保険を適用した長期的な実証実験の状況、パロのセラピー効果の科学的エビデンスとそのメカニズムに関する考察、世界各国の医療福祉制度への組み込み等について発表し、向精神薬の投薬量を低減化する非薬物療法の価値等について、意見交換を行う。さらに、宇宙飛行士・旅行者のメンタル・ヘルスケアへの応用についても議論する。



2017年5月 「Argentum 2017 Best of the Best Award」受賞

Biofeedback Therapy with PARO Seal at Legend Senior Living

Argentum：米国で senior living communities を保有・運営・管理等を行う企業の団体

プログラム：（講演者名）

（午前の部） 10：00－11：50

- ① （チュートリアル）柴田崇徳（産業技術総合研究所&東京工業大学&MIT）：セラピー用ロボット・パロの研究開発と国内外の動向－その9（60分）
- ② （特別講演）Ms. Randy L Griffin（RN, MS, HHNC, President of Griffin Consulting which provides “Dementia Care Education”）Using PARO to Open Doors to Human Connections and Emotional Responses: Helping Caregivers to Get the Best Results（逐次通訳:20分+20分）

（ランチ：各自、会場近隣のレストラン等にて。多数有り）

（午後の部・1） 13：20－15：00

- ③ （招待講演）横田洋人（社会福祉法人海光会特別養護老人ホーム海光園、機能訓練指導員）：特養におけるパロを用いた取り組み（20分）
- ④ （招待講演）長谷川真人（東京大学医学部附属病院リハビリテーション部、理学療法士、DPT/CTRS）：急性期大学病院リハビリテーション現場でのパロ活用の可能性（20分）
- ⑤ （招待講演）日下裕介（岡山市保健福祉局医療政策推進課・医療福祉戦略室）：総合特区「岡山市介護機器貸与モデル事業」対象機器としてのパロに関する利用状況等の報告（20分）
- ⑥ （招待講演）内野良一（東京工業大学情報理工学院）：アザラシ型ロボット・パロの認知症周辺症状に対する効果と、効果的なふれあい時間の目安について（20分）
- ⑦ （招待講演）井上 薫（首都大学東京大学院・准教授&作業療法士）：パロの活動時にみられる介護者の「個人の価値を高める行為」と「個人の価値を低める行為」の検討（20分）

（午後の部・2） 15：30－16：30

- ⑧ （基調講演）堀 容子（（一社）ハッピーネット代表理事、前名古屋大学大学院医学系研究科・教授）：認知症ロボット・セラピー実践に向けて脳科学を基盤とした理論の構築とパロ・セラピストに必要な能力の提案（60分）

（午後の部・3） 16：40－17：40

- ⑨ （招待講演）須藤典子（栃木県立のぞわ特別支援学校）：「パロ」介在による、行動障碍の改善の試みについて（20分）
- ⑩ （招待講演）和田一義（首都大学東京・准教授）：fMRIを用いたパロとの長期的な触れ合いが脳活動に与える影響の調査（20分）
- ⑪ （一般講演）柴田崇徳（産業技術総合研究所&東京工業大学&MIT）：火星探査等の長期宇宙ミッションにおけるメンタル・ヘルスのための「宇宙用パロ」に関する研究（20分）

18：00－20：00

- ⑫ 懇親会（ディスカッションのためのレセプション：参加費 2,000 円）